

## 丹家光菜さんが文部科学大臣賞奨励賞 J A 共済書道コンクール



道と書の前で受賞作の記念撮影する丹家光菜さん(左)と入江先生(右)

2月3日、J A 共済全国小・中学生書道・交通安全ポスターコンクールの表彰式が都内で開かれ、丹家光菜さん(岩間二小2年 押辺)が「条幅の部」で文部科学大臣奨励賞を受賞しました。

書道コンクールは今回で55回目を数える歴史あるコンクールで、今年度は全国の小・中学生から141万点の応募がありました。

受賞した丹家さんは「文部科学大臣奨励賞の上に農林水産大臣賞があるので、来年はその賞を目指したい」と意欲を語ってくれました。

## 笠間の栗のブランド化を目指して 笠間の栗グレードアップ講演会



演題「デザインの効果とブランドづくり」

笠間の栗のブランド化を目指す、笠間の栗グレードアップ会議は、2月29日、更なる栗のブランド化や6次産業化を推進するため講演会を開催しました。

松本 計さん(東京藝術大学 准教授)を講師に迎え、ブランド化を図る上でのデザインの重要性に焦点を当てながら、ブランド化を推進する上でのポイントや、ブランドイメージを維持することの難しさなどについてのご講演をいただきました。

当日は、栗生産農家や6次産業化を目指す農業者、また栗加工品販売事業者などが来場し、熱心に耳を傾けていました。

## 島田さん 巨大獅子頭を寄贈



仁平校長(左)と獅子頭の前で記念撮影する島田さん(右)

3月2日、島田幸作さん(吉岡)が、1.2メートル四方の巨大獅子頭を岩間中学校(仁平勇校長)に寄贈し、贈呈式が行われました。

島田さんは50年近くにわたり山車やみこしの制作を行っており、市のスクールガードリーダーも務めています。子どもたちの安全のためにという願いを込め、3か月の期間をかけて獅子頭を作成、寄贈しました。

贈呈式で巨大な獅子頭が披露されると、生徒たちから大きな歓声が上がりました。

## 矢板たかはらマラソン大会に参加



上位入賞者 10km男子/50歳代山口泰広さん  
5km男子/高校生以上39歳以下 山崎純弥さん

平成24年3月11日(日)、姉妹都市である栃木県矢板市で開催された「第22回矢板たかはらマラソン大会」に笠間市から17名のランナーが参加しました。

当日は、あいにくの曇り空でしたが、雄大な高原山を眺めながら、自然豊かなりんごの郷を快走し、2名の方が上位入賞を果たしました。

大会を通して、多くの矢板市民の方々と交流することができ、楽しい一日を過ごすことができました。

## 人権教育講演会



講演の様子

歌手の中島啓江<sup>なかしまけいこ</sup>さんを講師に迎え、2月25日、笠間公民館大ホールで、茨城県、茨城県教育委員会、笠間市、笠間市教育委員会、茨城県人権啓発活動ネットワーク協議会の主催により、人権教育講演会が開催されました。

中島さんは「答えはYes! 子どもへ、そして大人へ『生きる力』を伝えたい」を演題に、自身が小学生のときいじめられた体験や、いじめつ子と仲直りしたエピソードなどを交え、生きていくことについて熱く訴えかけました。

## 深谷消防団長表彰



表彰状を手にする深谷団長

3月8日、平成23年度消防功労者消防団長官表彰が東京都内で行われ、笠間市消防団長 深谷一郎<sup>ふかや いちろう</sup>さん（南友部）が永年勤続功労章を受賞しました。

深谷さんは35年の長きにわたり消防団活動を行い、平成22年に団長に就任してからは、ほぼすべての火災現場で陣頭指揮をとっています。このほか東日本大震災時に素早い対応で被害を最小限に食い止めたことや、木材リサイクル工場の大規模火災、笠間市消防団の各支団の統一などに尽力した功績が高く評価されました。

## 春のイベント

### ひまつり 笠間の陶炎祭

約200人の窯元や陶芸家たちが作品を直接販売する一大陶器市。土面コンクールやコンサートなどの催しも開かれ、期間中は30万人以上の来場者で賑わいます。

**期間** 4月29日(日・祝)～5月5日(土・祝)

**場所** 笠間芸術の森公園(笠間2245)



陶炎祭

### 笠間つつじまつり

霧島、日の出、久留米など、さまざまな品種・約8,500株のつつじが山一面を真っ赤に染めます。ゴールデンウイーク期間中は、野点や各種演奏などが行われます。

**期間** 4月21日(土)～5月13日(日)

※開花状況により延長する場合があります。

**場所** 笠間つつじ公園(笠間616-7)

**料金** 大人(高校生以上)500円



つつじまつり